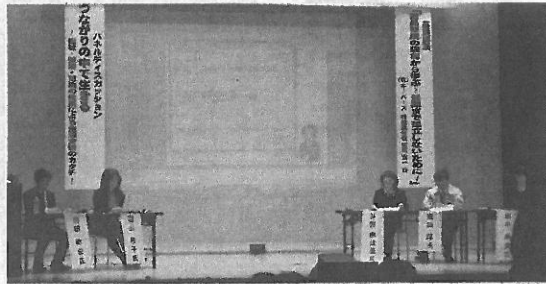


つながりの中で生きる

あなたのため。そばにいる人のため。一度は聴いておいてほしいこと、知っておいて欲しいことと、(公社)成年後見センター・リーガルサポート奈良支部では、「成年後見市民シンポジウム2013」をつながりの中で生きる」をテーマに、2月2日、奈良県五條市市民会館大ホールでシンポジウムを開催した。このシンポジウムでは、成年後見制度の活用を通じて、地域や行政、そして家族との「つながり」が生まれていくことにより、高齢者・障がい者等の社会での孤立化を防ぎ、社会の一員として力強く生きていく力となることを伝えるために実施されたもの。

基調講演では、日本初の遺品整理専門会社を設立し、設立後10年間で約12000件の遺品整理に対応。現在、全国各地で年間の遺品整理約1

600件と、孤立死予防啓発のため年間100カ所以上で講演をしている、「天国へのお引越のお手伝い」キーパーズの吉田太一代表取締役が、孤立しないためのヒントを持ち帰っていただければ...と話し始め、年間150人ぐら



活発な意見が飛びかかったパネルディスカッション

成年後見市民シンポジウム2013

の遺品整理をしているが、その殆どが孤立死であること。片付けに行った時に、故人の生きざまを見て、全てを知ることが出来る。自分の身内から知る生きざまは少ないけど、私は色々な人の生きざまを知ることができた。自分もそういう可能性があることを知っていた。話したい。と話し、質問をした。

奈良県立五條病院地域医療連携室の田中尚美看護主任は、療養相談についての説明と、在宅療養支援入院について、在宅医療支援室の案内などを。NPO法人吉野コスモス会生活相談センターのどかの高村公子精神保健福祉士が、相談支援事業や相談方法を事例を取り入れながら話した。

最後に、(公社)成年後見センター・リーガルサポート奈良支部・前田敏宏司法書士と、パネラーに五條市地域包括支援センターの井筒田佳理係長。五條市地域包括支援センターを、主任ケアマネジャーと社会福祉士、保健師の3職種の専門職員が連携して高齢者を支援し、介

護予防ケアマネジメント、総合相談・支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメントと介護予防事業を行っていることを。

五條市あんしん福祉部社会福祉課保護係吉田淳係長は、生活保護制度や、扶養義務者からの援助についてなどの説明をした。

最後に、(公社)成年後見センター・リーガルサポート奈良支部の西山弓子司法書士は、司法書士ってどんな職業？から入り成年後見センター・リーガルサポート、成年後見制度について、事例を交えながらわかりやすく話した。